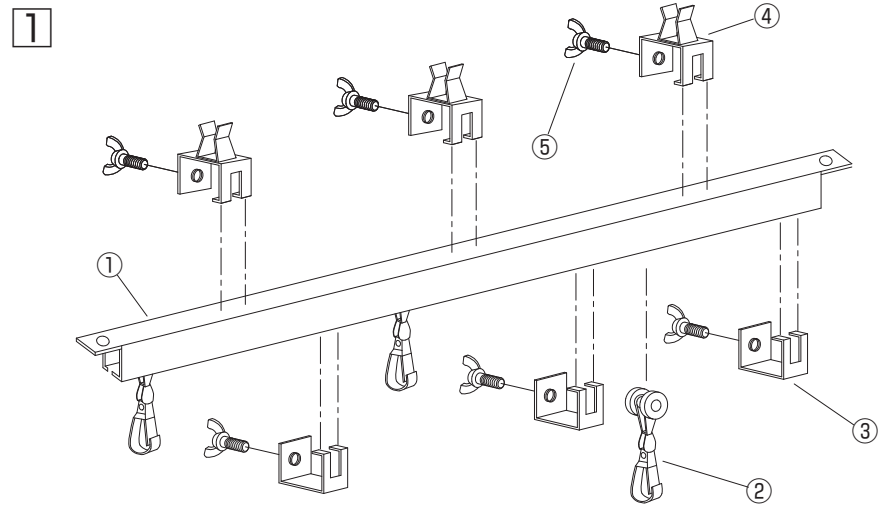


上部アーム用金具

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	スライドレール	1	④	コードガイド金具	3
②	ローラー吊り金具	3	⑤	蝶ボルト M6×12L	6
③	ストッパー金具	3			

1

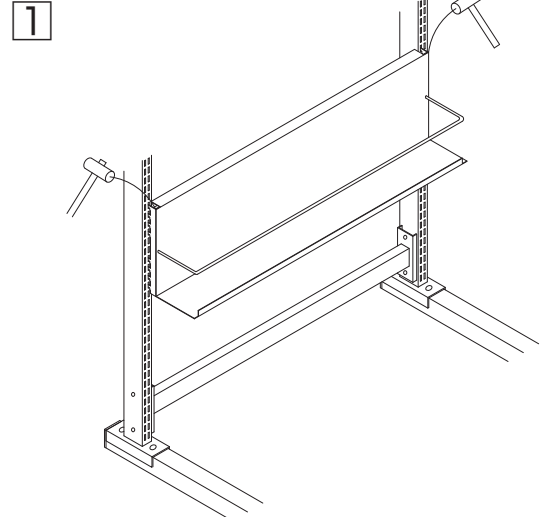


①スライドレールの下部より②ローラー吊金具のローラー部を入れた後、③ストッパー金具で脱落防止を行って下さい。残りの③ストッパー金具と④コードガイド金具は、任意の場所に取り付けてご使用下さい。

マルチスタンド《W900・W1200》

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	マルチスタンド	1	②	抜け止め防止セット	1

1

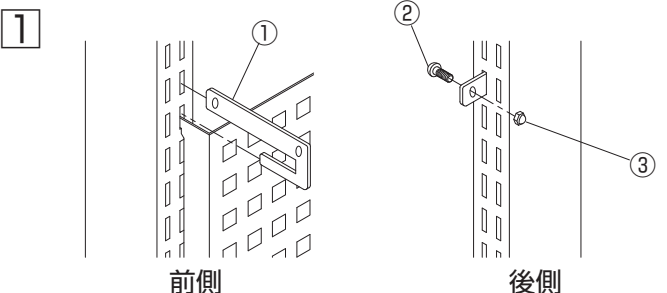


後支柱に①マルチスタンドを取付けます。ツメが抜けないように上から樹脂ハンマー又は木槌で軽く叩いてください。
※抜け止め防止板の使用方法は11ページに記載

抜け止め防止セット

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	抜け止め防止板	2	③	袋ナット M6	2
②	トラス小ネジ M6×8L	2			

1



オプション品の一番上のツメが掛っている場所とその一つ上の角穴に①抜け止め防止板を後支柱にいます。反対側から出てきた抜け止め防止板の穴に②トラス小ネジ（M6×15L）と③袋ナット（M6）を組付けます。オプション品が抜けないことを確認してから使用して下さい。

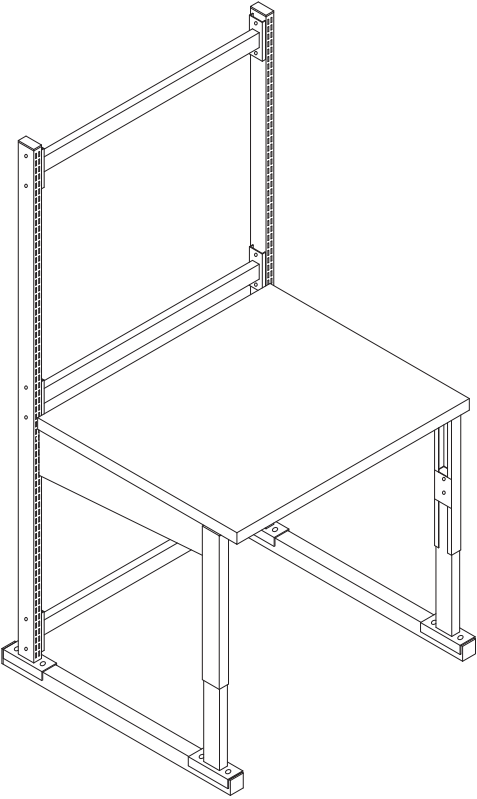
前側後側

カスタマイズ作業台

“ ワーテック ”

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいます。ありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）と組立てについて記載しています。
組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、
下記のお客室相談室までご連絡ください。



Sサカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

フリーダイヤル

お客様相談室 0120-575101

この製品を安全に、また末永くご利用いただくために、次の事項を必ず守ってください。

⚠安全上のご注意

- 1.製品の均等分耐荷重（全体に均等に物を置いた場合）は、180kg
- 2.天板の均等分耐荷重（天板全体に均等に物を置いた場合）は、150kg積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。
それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
- 3.製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。
転倒や転落事故の原因になります。
- 4.使用中にネジやパーツの緩みなどガタツキが生じたときは組立手順にしたがって、締めなおして下さい。
緩んだままで使用していると、変形や転倒の原因になります。
- 5.製品の分解・改造や部品を外したり、外したままで使用しないで下さい。
- 6.収納物がはみ出したり高く積み上げた状態でご使用にならないで下さい。落下等の事故の原因になります。
- 7.可動部の隙間に指を入れますと、指を挟む恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
- 8.この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡しください。
- 9.転倒防止のため、重い物は下側に入れて置いて下さい。また、上側のみに荷重をかけた状態での使用はしないで下さい。
- 10.使用に際しては本体を必ず水平に保って作業して下さい。
- 11.凹凸の激しい通路での使用は絶対しないで下さい。
転倒や事故の原因になります。
- 12.製品にもたれたりぶら下がったり、また乗ったりしないで下さい。変形や破損、及び転倒事故の原因となります。
- 13.傾斜地では使用しないで下さい。本体が転倒する恐れがあり、人や物に当たりけがや破損の原因となります。
- 14.アジャスター付製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。
- 15.本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
- 16.この製品を移動する時は、載せてある物を全ておろし、支柱を持ち複数人でゆっくり持ち上げて行ってください。
- 17.天板の継ぎ目や裏側、隙間に指を入れないで下さい。
- 18.パンチングパネルフックに工具を掛けるときは、ゆっくりと掛けて下さい。フック固定部が樹脂製のため、強く掛けますと破損の恐れがあります。
- 19.パーツボックスやフックが破損したり、変形した状態でご使用にならないで下さい。パーツが落下する恐れがあります。
- 20.転倒防止のため、大きな部品等は下側へ取り付けて下さい。
- 21.部材やオプション品のツメがしっかりと挟まっていることを確認してから使用してください。
はめ込む際は樹脂ハンマー又は木槌で軽く叩いてください。

- 22.この製品に工具類を取り付ける際、必ず専用フック（オプション）をご利用ください。（指定のものの以外のパーツを取付けると、落下や破損の恐れがあります。
 - 23.本来の目的、用途以外での使用はしないでください。
 - 24.抜け止め防止板を各オプションで使用してください。
落下防止対策になります。
※棚板の傾斜時は使用できません
- 【各オプションの許容荷重】
- | | |
|------------|------|
| 1.棚板 | 30kg |
| 2.パンチングパネル | 30kg |
| 3.スチールパネル | 30kg |
| 4.底棚 | 50kg |
| 5.ボックスフック | 40kg |
| 6.マルチスタンド | 30kg |
| 7.モニタービーム | 8kg |
- ※モニタービームの説明書で詳細の確認をしてください
- | | |
|---------|------|
| 8.上部アーム | 20kg |
|---------|------|
- ※ワークライトの説明書で詳細を確認をしてください

◆使用上のご注意

- 1.この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やさびの原因となりますので使用しないで下さい。
- 2.直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
- 3.製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
- 4.製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷やサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- 5.特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 6.製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。
- 7.温度の著しい物の収納は避けて下さい。
- 8.子供の手に触れる場所に置かないで下さい。また子供を近づけないで下さい。製品に触れて転倒やけがの恐れがあります。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

- 通常は乾いた柔らかい布でから拭きして下さい。汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。
- 1.薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
 - 2.水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
 - 3.乾いた柔らかい布で、水分が残らないように拭取って下さい。
- ※ 汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。
- ※ シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

上部アーム ワークライト《W900・W1200》

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	上部支柱	R/L 各 1	⑦	スライドレール	1
②	アーム部	2	⑧	十字穴付六角ボルト M6×15L	2
③	六角ボルト M8×40L	6	⑨	セレイト付フランジナット M6	2
④	平座金 M8用	6	⑩	ワークライト	1
⑤	セレイト付フランジナット M8	6	⑪	抜け止め防止セット	1
⑥	ワークライト吊金具	2			

1

①上部支柱と②アーム部を③六角ボルト（M8×40L）④平座金（M8用）⑤セレイト付フランジナット（M8）で組付けます。

※上部支柱の前後を間違えないようにしてください

その後任意の位置に⑥ワークライト吊金具を③六角ボルト（M8×40L）④平座金（M8用）⑤セレイト付フランジナット（M8）で組付けます。

※ワークライト吊金具の向きに注意してください

2

組付けた上部支柱をR/L間違えないように取付けます。内側の角穴に入れてください。

※抜け止め防止板を取付る際は一番上から二つの角穴は空けてください。
ツメが引っかかったら樹脂ハンマー又は木槌で軽く上から叩いてください。

次に任意の位置に⑦スライドレールを③六角ボルト（M8×40L）④平座金（M8用）⑤セレイト付フランジナット（M8）で組付けます。

その後⑥ワークライト吊金具と⑩ワークライトを⑧十字穴付六角ボルト（M6×15L）⑨セレイト付フランジナット（M6）で組付けます。

※抜け止め防止板の使用方法は11ページに記載

※高い位置の取付となりますので、必ずハシゴ、脚立等を使用して行ってください

※取付は複数人で行ってください

1

10

底棚《W900・W1200》

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	底棚	1			

1

①底棚を底脚に乗せて使用してください。

①底棚は1台に付2枚まで取付可能です。

天板コボレ止め《W900・W1200》

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	天板コボレ止め	1	③	クランプ板	3
②	ノブボルト	3			

1

①天板コボレ止めの②ノブボルトを天板の厚さが入るように緩めます。天板に挟み込んだら②ノブボルトを3ヶ所締めます。

※間口方向のみ取付可能

※天板の高さによっては後支柱側の取付不可

ボックスフック《W900・W1200》

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	ボックスフック	1	②	抜け止め防止セット	1

1

①ボックスフックを任意の高さにツメを引っ掛け、水平になっていることを確認してから樹脂ハンマー又は木槌で軽く叩いてください。

※抜け止め防止板の使用法は11ページに記載

オプション使用例

※パーツボックスは別売りです

部材名称

部材構成<単体>	数
前支柱R	1
前支柱L	1
スライド脚R	1
スライド脚L	1
スライド脚固定座金	2
後支柱	2
底脚	2
アジャスター	4
支柱連結金具	3
天受フレームR	1
天受フレームL	1
天板受板	2
天板	1

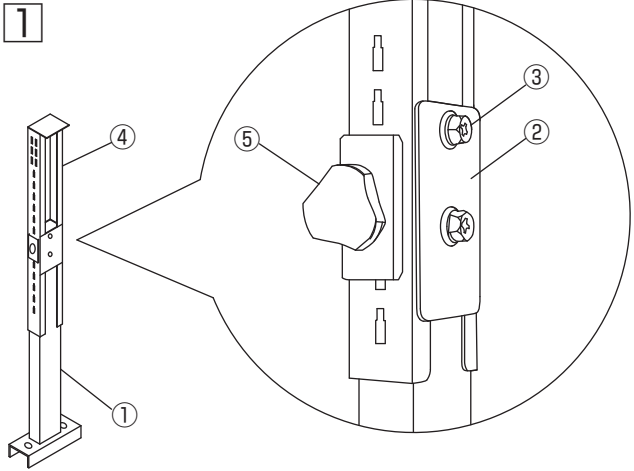
部材構成<連結>	数
前支柱R	2
前支柱L	1
スライド脚R	2
スライド脚L	1
スライド脚固定座金	3
後支柱	3
底脚	3
アジャスター	6
支柱連結金具	6
天受フレームR	2
天受フレームL	2
天板受板	4
天板	2

※右連結／左連結によって前支柱の数量は変わります 図示：右連結

9

2

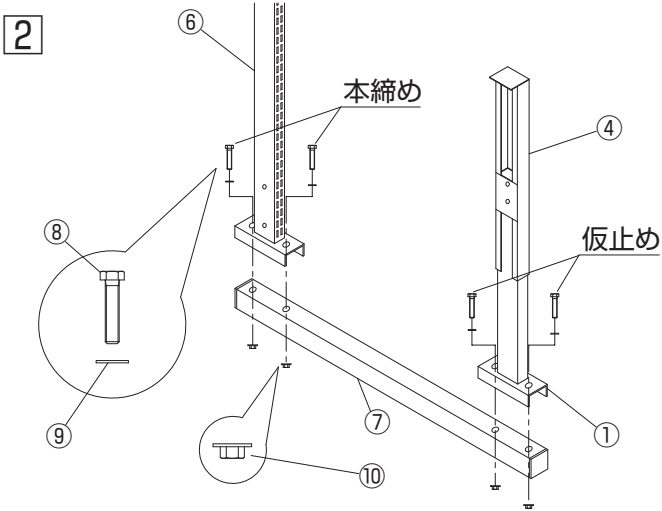
組立手順《単体》					
番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	前支柱	R/L 各 1	⑨	平座金 M12用	8
②	スライド脚固定座金	2	⑩	セレイト付フランジナット M12	8
③	十字穴付六角ボルト M8×18L	4	⑪	支柱連結金具	3
④	スライド脚	R/L 各 1	⑫	六角ボルト M8×55L	12
⑤	スライド脚固定金具	2	⑬	バネ座金 M8用	12
⑥	後支柱	2	⑭	平座金 M8用	12
⑦	底脚	2	⑮	スペーサー 呼8×40L	12
⑧	六角ボルト M12×65L	8	⑯	セレイト付フランジナット M8	12



前支柱の高さ調整

①前支柱の②スライド脚固定座金と③十字穴付六角ボルト（M8×18L）を緩め、④スライド脚を上下に軽く動かすと⑤スライド脚固定金具が外れます。

高さが決まったら⑤スライド脚固定金具を入れ、②スライド脚固定座金と③十字穴付六角ボルト（M8×18L）で再度締め直してください。
※前支柱R/Lそれぞれ同様に組立



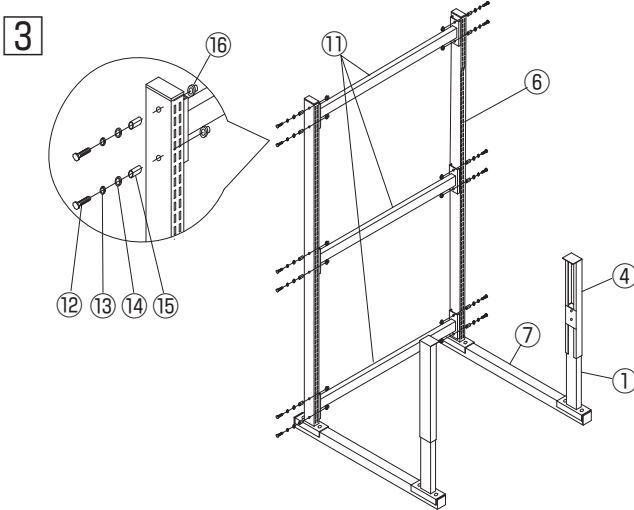
前支柱・後支柱・底脚の組付

①前支柱と⑥後支柱の穴と、⑦底脚の穴が合うようにはめ込みます。

⑧六角ボルト（M12×65L）⑨平座金（M12用）を穴に通し、⑩セレイト付フランジナット（M12）で締めます。

このとき①前支柱は仮止め、⑥後支柱は本締めしてください。

※前支柱R/Lそれぞれ同様に組立
※本締めの際は、強く締め過ぎないように注意してください



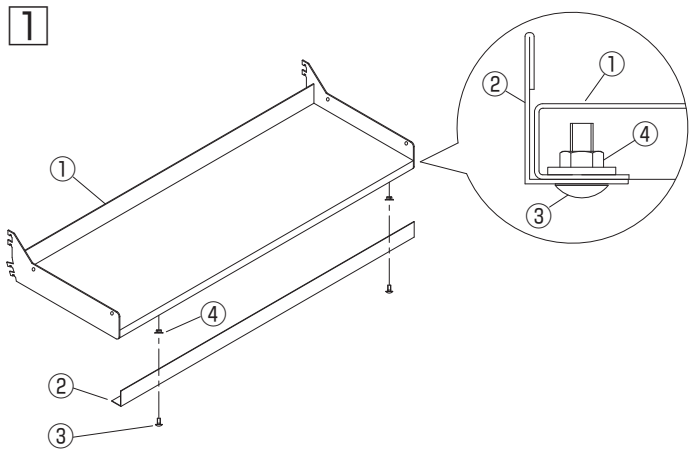
支柱連結金具を取付

②で組み立てた支柱R/Lと⑪支柱連結金具を⑫六角ボルト（M8×55L）⑬バネ座金（M8用）、⑭平座金（M8用）⑮スペーサー（呼び8×40L）⑯セレイト付フランジナット（M8）で組付をします。

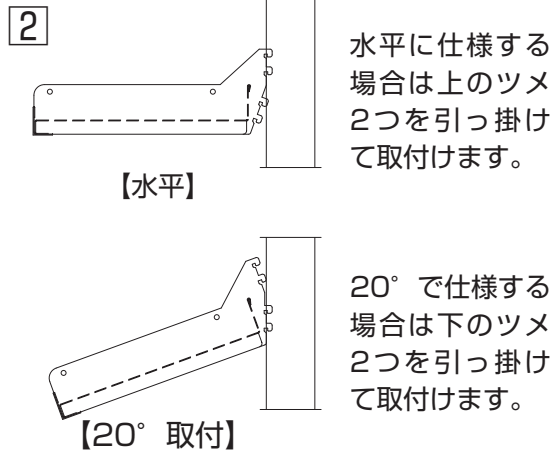
※前支柱のR/Lが合っているか確認してください。

棚板《W900・W1200》

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	棚板	1	④	セレイト付フランジナット M8	2
②	棚板用コボレ止め	1	⑤	抜け止め防止セット	1
③	トラス小ネジ M8×16L	2			



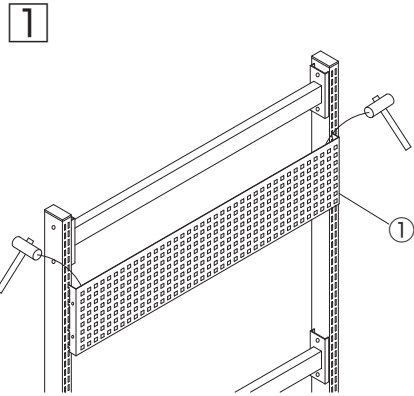
①棚板の前方裏面から②棚板用コボレ止め、③トラス小ネジ（M8×16L）④セレイト付フランジナット（M8）にて取付けます。



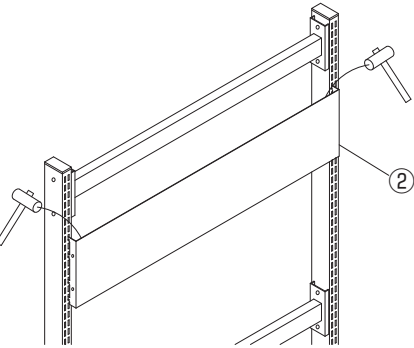
後支柱に①棚板を取付後、ツメが抜けないように上から樹脂ハンマー又は木槌で軽く叩いてください。
※抜け止め防止板の使用法は11ページに記載
※抜け止め防止板は20°では使用できません

パンチングパネル/スチールパネル《W900・W1200》

番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	パンチングパネル	1	③	抜け止め防止セット	1
②	スチールパネル	1			

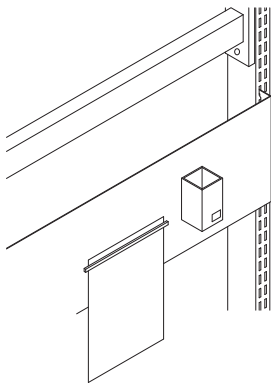
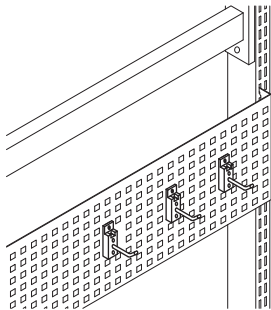


①パンチングパネル・②スチールパネルを任意の高さにツメを引っ掛け、水平になっていることを確認してから樹脂ハンマー又は木槌で軽く上から叩いてください。



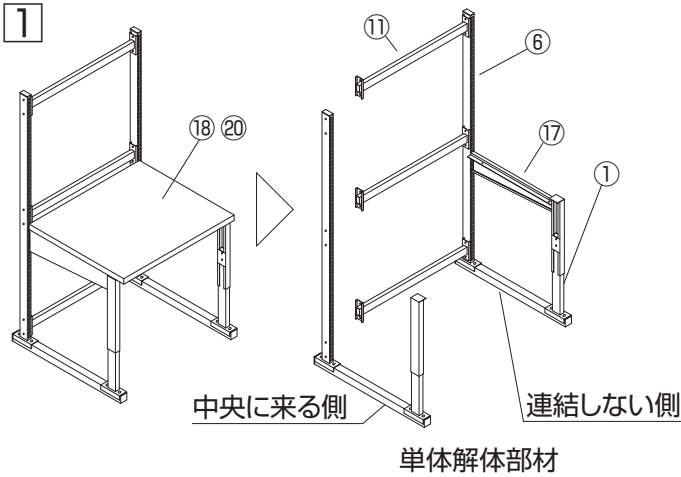
※抜け止め防止板の使用法は11ページに記載

オプション使用例



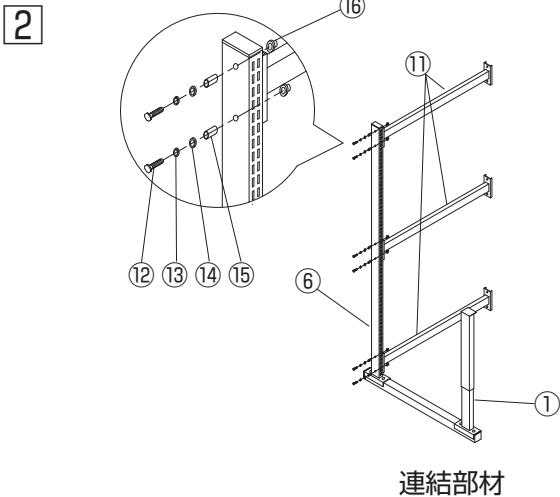
※パンチングパネルフックは別売りです
※マグネットフックは別売りです

組立手順《単体に連結を追加》					
番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	前支柱	R/L 計 3	⑩	セライト付フランジナット M8	18
⑥	後支柱	3	⑪	天受フレーム	R/L 各 2
⑧	六角ボルト M12×65L	12	⑫	天板受板	4
⑪	支柱連結金具	6	⑬	天板	2
⑫	六角ボルト M8×55L	12	⑭	六角ボルト M8×65L	6
⑬	バネ座金 M8用	18	⑮	スペーサー 呼8×50L	6
⑭	平座金 M8用	18			
⑮	スペーサー 呼8×40L	12			



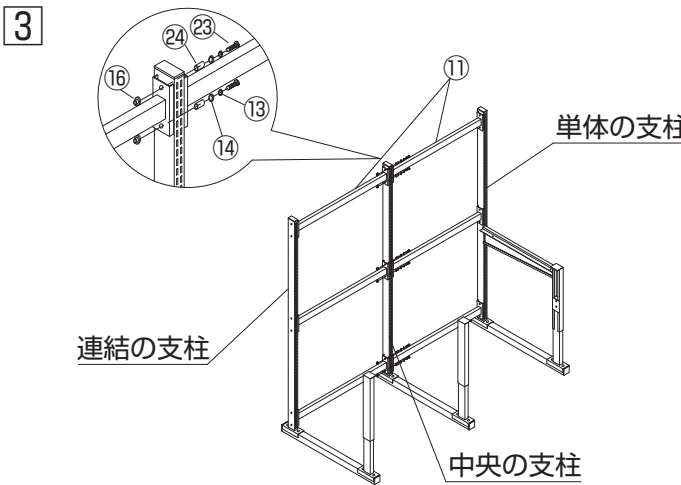
単体の解体

組立済みの単体の⑫天板⑫天板受板連結する側の⑪天受フレーム⑪支柱連結金具を外して下さい。
左の図のように連結しない側と中央に来る側に解体します。
高さ調整をする場合は組立手順《連結》の①を参照して下さい。



連結部材の組立

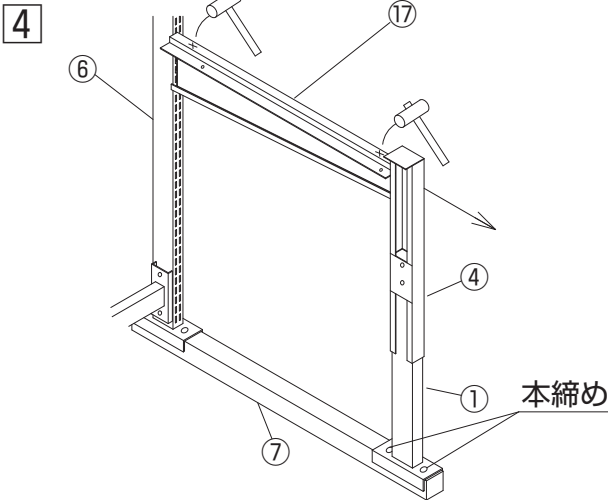
組立手順《連結》の①②に従って支柱の組立を行って下さい。
組立た部材に⑪支柱連結金具を⑫六角ボルト（M8×55L）⑬バネ座金（M8用）⑭平座金（M8用）⑮スペーサー（呼び8×40L）⑯セライト付フランジナット（M8）で組付をします。



支柱に連結

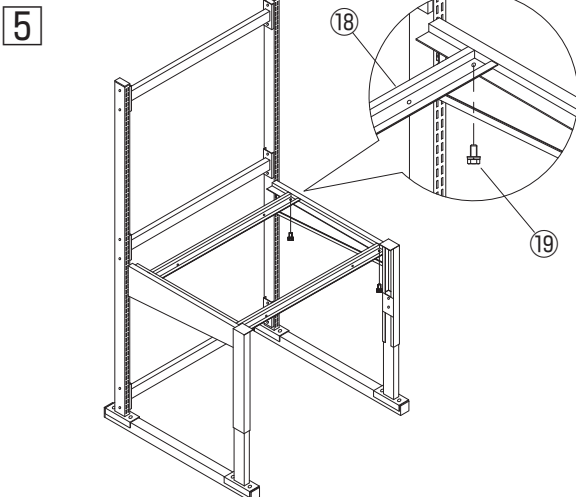
単体の支柱と連結の支柱を中央の支柱に⑮六角ボルト（M8×65L）⑬バネ座金（M8用）⑭平座金（M8用）⑮スペーサー（呼び8×50L）⑯セライト付フランジナット（M8）で組付をします。
※前支柱のR/Lが合っているか確認して下さい。
組立後組立手順《連結》④⑤⑥に従って組み立てて下さい。
※図は左連結です。右側も同様に組立可能です。

組立手順《単体》					
番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
⑪	天受フレーム	R/L 各 1			
⑫	天板受板	2			
⑬	十字穴付六角ボルト M8×18L	4			
⑬	天板	1			
⑭	六角ボルト M8×25L	4			
⑮	平座金 M8用	4			



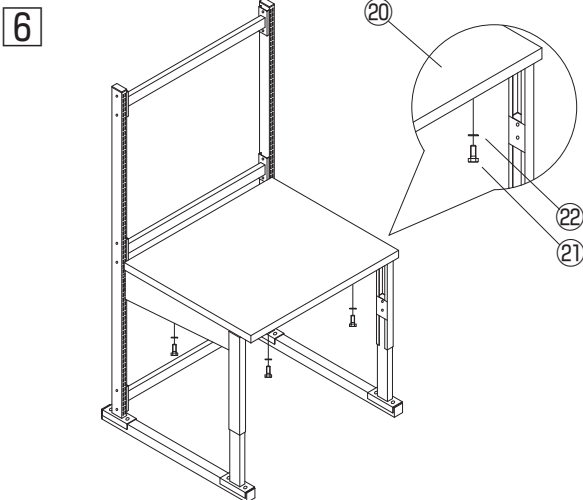
天受フレーム取付

①前支柱を軽く手前に傾けて、⑪天受フレームのツメを①前支柱・⑥後支柱それぞれに入れます。
※R/L同様に内側の角穴にツメを入れて下さい。
両端のツメを入れ、⑪天受フレームが水平なことを確認後、樹脂ハンマー又は木槌で⑪天受フレームを上から軽く叩き込んで下さい。
その後、①前支柱の⑧六角ボルト（M12×65L）を本締めして下さい。
※本締めの際は、強く締め過ぎないように注意して下さい



天板受板取付

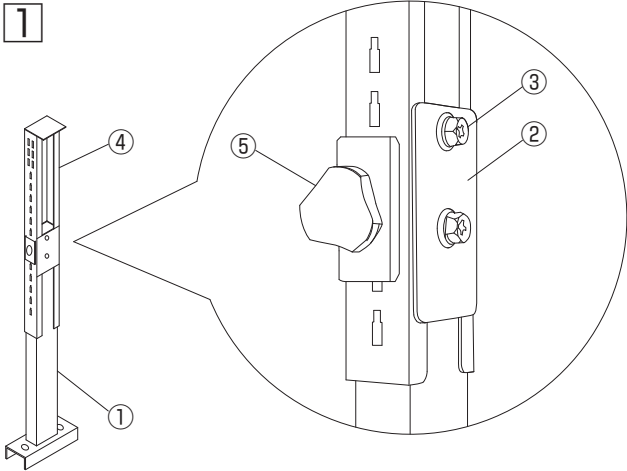
⑪天受フレームの穴に合うように⑫天板受板を置き⑬十字穴付六角ボルト（M8×18L）で固定します。



天板取付

⑫天板を⑫天板受板に載せ、穴の位置が合うように配置します。
⑭六角ボルト（M8×25L）⑮平座金（M8用）で4ヶ所組付します。
※インパクトドライバーなどの電動機器で締めすぎますと鬼目ナットが破損するおそれがありますので、注意して下さい
※最後に全体のボルトの締め忘れがないか確認して下さい

組立手順《連結》					
番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
①	前支柱	R/L 計 3	⑨	平座金 M12用	12
②	スライド脚固定座金	3	⑩	セリート付フランジナット M12	12
③	十字穴付六角ボルト M8×18L	6	⑪	支柱連結金具	6
④	スライド脚	R/L 計 3	⑫	六角ボルト M8×55L	12
⑤	スライド脚固定金具	3	⑬	バネ座金 M8用	18
⑥	後支柱	3	⑭	平座金 M8用	18
⑦	底脚	3	⑮	スペーサー 呼8×40L	12
⑧	六角ボルト M12×65L	12	⑯	セリート付フランジナット M8	18



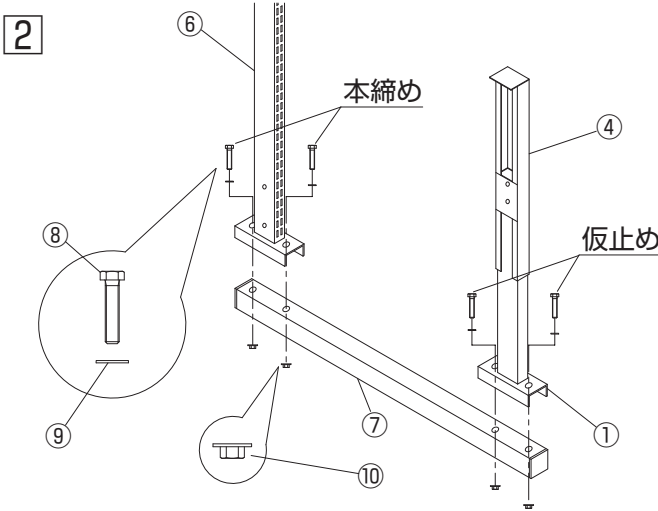
前支柱の高さ調整

①前支柱の②スライド脚固定座金と③十字穴付六角ボルト（M8×18L）を緩め、④スライド脚を上下に軽く動かすと⑤スライド脚固定金具が外れます。

高さが決まったら⑤スライド脚固定金具を入れ、②スライド脚固定座金と③十字穴付六角ボルト（M8×18L）で再度締め直してください。

※前支柱R/Lそれぞれ同様に組立

※右側・左側連結用によって、前支柱R/Lの数は変わります



前支柱・後支柱・底脚の組付

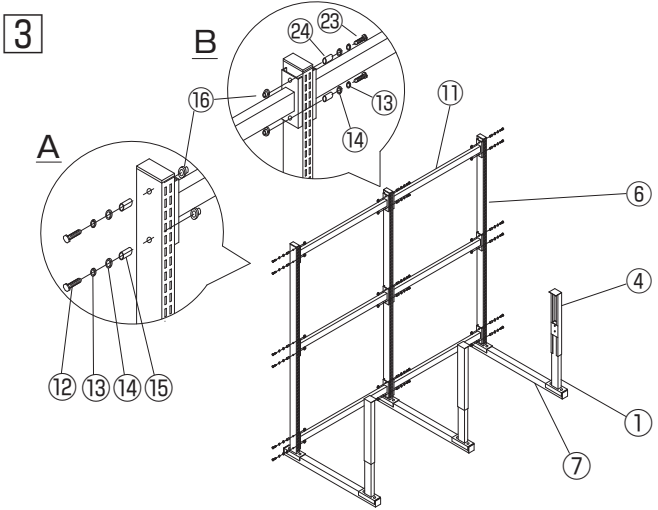
①前支柱と⑥後支柱の穴と、⑦底脚の穴が合うようにはめ込みます。

⑧六角ボルト（M12×65L）⑨平座金（M12用）を穴に通し、⑩セリート付フランジナット（M12）で締めます。

このとき①前支柱は仮止め、⑥後支柱は本締めしてください。

※前支柱R/Lそれぞれ同様に組立

※本締めの際は、強く締め過ぎないように注意してください



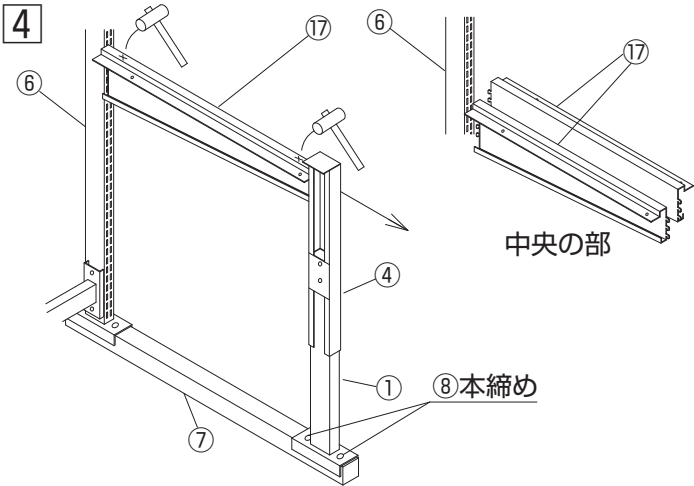
支柱連結金具を取付

②で組み立てた支柱3本と⑪支柱連結金具をAは⑫六角ボルト（M8×55L）⑬バネ座金（M8用）⑭平座金（M8用）⑮スペーサー（呼び8×40L）⑯セリート付フランジナット（M8）で組付をします。

Bは六角ボルト⑮（M8×65L）⑬バネ座金（M8用）⑭平座金（M8用）⑮スペーサー（呼び8×50L）⑯セリート付フランジナット（M8）で組付をします。

※前支柱のR/Lが合っているか確認してください。

組立手順《連結》					
番号	部材名	数量	番号	部材名	数量
⑰	天受フレーム	R/L 各 2			
⑱	天板受板	4			
⑲	十字穴付六角ボルト M8×18L	8			
⑳	天板	2			
㉑	六角ボルト M8×25L	8			
㉒	平座金 M8用	8			
㉓	六角ボルト M8×65L	6			
㉔	スペーサー 呼8×50L	6			



天受フレーム取付

①前支柱を軽く手前に傾けて、⑰天受フレームのツメを①前支柱・⑥後支柱それぞれに入れます。

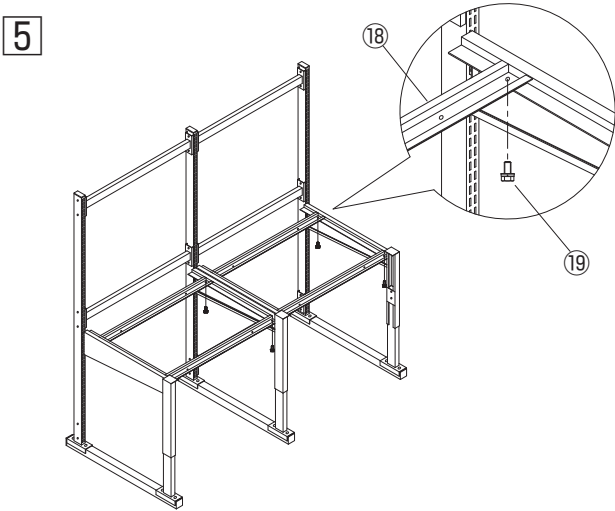
※R/L同様に内側の角穴にツメを入れて下さい。

両端のツメを入れ、⑰天受フレームが水平なことを確認後、樹脂ハンマー又は木槌で⑰天受フレームを上から軽く叩き込んでください。

連結時、中央に来る支柱には⑰天受フレームR/Lを取り付けて下さい。

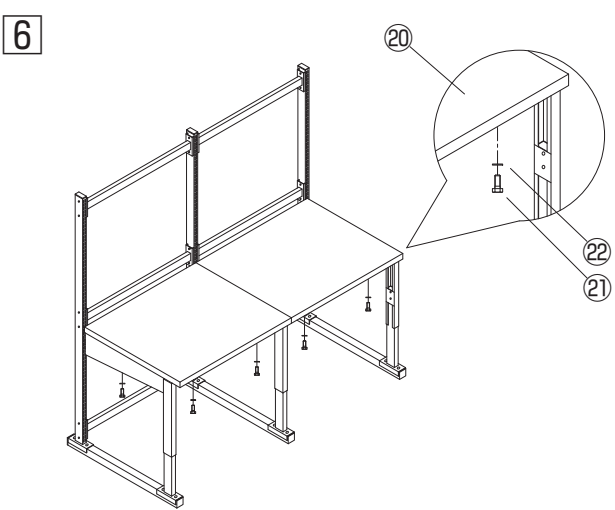
その後、①前支柱の⑧六角ボルト（M12×65L）を本締めしてください。

※本締めの際は、強く締め過ぎないように注意してください



天板受板取付

⑰天受フレームの穴に合うように⑱天板受板を置き⑲十字穴付六角ボルト（M8×18L）で固定します。



天板取付

⑳天板を⑱天板受板に載せ、穴の位置が合うように配置します。㉑六角ボルト（M8×25L）㉒平座金（M8用）で8ヶ所組付します。

※インパクトドライバーなどの電動機器で締めますと鬼目ナットが破損するおそれがありますので、注意してください

※最後に全体のボルトの締め忘れがないか確認してください